



スイレンの花、オモダカの花、カエルの卵、メダカ、アメンボ・・・

『夏も近づく八十八夜 野にも山にも若葉が茂り
あれに見ゆるは茶摘じゃないか 茜襪に菅の笠』
～茶摘み 八十八夜は立春から88日目の意味だそうです～
新緑が眩しい季節です。たからのもりでは若葉が
萌え、風にも心地よさを感じます。色水遊び、砂場
遊び、虫探し、ビオトープの観察や遊具での挑戦、
初夏の爽やかさを体中で感じながら園庭を駆け回る
子供たち。やりたい遊びがいっぱいの幼稚園です。
風の香り、木洩れ日、鳥のさえずり、みんなの
笑顔。『自然に生きる喜び』にあふれる日々です

風の子便り

KAZENOKO DAYORI

滋賀大学教育学部附属幼稚園



4月の終わりごろから「ビオトープにカエル
がいるで」と、年長さんで話題になっていると
聞きました。子供たちが部屋に入ってから
しばらくすると『guwa-guwa...』と、鳴き声
が聞こえてきます。声を聞いて想像を膨らませ
ながら図鑑をながめ「カエル」の正体を確かめ
ようと探究する年長児。

連休明け、ビオトープに「カエルの卵」らしき
物体があるのを発見した年長児は、『しばらく
アメンボ採り中止』とのおふれを出して、卵を
観察して本当にオタマジャクシが出てくるのか
を楽しみにしています。

子供たちの興味・関心が、好奇心や探究心
につながればと考えてテラスでは大型モニターに
映して観察できるようにしています。

「ビオトープが、ようやく
『自然界』に認められた感じですね」

命に囲まれながら探究心を発揮する子供たちを
見守りながら、ビオトープの成長も喜んでいる
先生たちです。



ちなみに…

- ① どうやらカエルの正体はトノサマガエル
- ② ビオトープにある卵はとんでもない数なので、全部オタマジャクシになったらどうしよう…と実は思っている。
- ③ しかし、アメンボが卵の中の胚らしきものを食べようとしているところを見てしまった。子供たちはまだ知らない…



幼稚園では、生き物に興味関心をよせて観察
する中で、「命」に触れる機会を大切にしたいと
考えています。その中で「想像」や「探究」が
より深まることを願い小さな生き物をモニター
に映してみんなで見たり、あえて情報を与えず
に観察したりするなどの工夫をしています。

「創造的な保育者には二つのポケットが必要。
一つは確かな知識を入れるポケット。もう一つ
は不確かな問いを入れるポケットである」

『レッジョエミリアから学んだ言葉 秋田喜代美』

一つの答えを与える以上にどのように探究を
生み出せるかを問い続けたいと考えています。



季節のアルバム



おひさまタイムでダンスをしている年長児を見て同じように踊る年中児。思わず心も体も動かす「あこがれ」は大切な学びのモチベーション！

「みんなと一緒にってなんだかうれしい」それぞれに、自分がしたいことをして遊ぶ年少児でも、「一緒」はやっぱりうれしい気分。

もうすぐ「こどもの日」。新聞紙で兜をつくる年長児。私も子供の時に作っていました。時は過ぎても大事なものは大事なまま。



大きな紙、大きなイーゼルにえのぐで描く。体を大きく使うのもよし！筆を走らせる勢いもよし！なんといっても笑顔がいちばんよし！

なかよしテラス。モニターに映し出されているのはカエルの卵。小さいものも大きくしてみることができて、お友達と一緒に観察できます。👍

先生たちと一緒に元気いっぱいダンスをするすみれ組さん。幼稚園で楽しくすごす毎日、少しずつ体力もついてくるだろうと感じました。

～副園長のおしゃべり～

幼稚園教育要領に「幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの」と、すごいことが示されている。まさか、幼児期の教育で人格すべてが決まろうはずはない。しかし、親をベースとした人への愛着（ものへの愛着も）や、自然や社会、様々な人との関わりや信頼などは、幼児期から児童初期に育まれることが大切だと考えている。そこで、先日、大学の授業で行ったワークが「小学校の通学路を書いてそこに思い出を書き込んで紹介し合う」というものだ。よければ誰かとやってみてほしい。

自分がどういった環境に包まれてどのように育ってきたのかが実感できると共に、当時一緒にすごした級友をはじめ、見守ってくれた大人に感謝をおぼえることだと思う。生涯にわたる人格に大きな影響を与えた幼年期の体験を「原体験」というらしい。私たちが子供たちの「原体験」に少しでも関われたなら幸甚である。

幼稚園で子供も親も先生も共に育つことができればいいな。そう願って考え、工夫し、行動したいと思っています。園庭では春の花盛り！スイートピーがとってもいい香りです。保護者の皆さん好きなお花ってありますか？感想と共に教えてくださいー！メモ帳でも一筆箋でも、紙きれでもお待ちしています



エリクソンの心理社会的発達段階
[Newton 2021年7月号]より

- 1. 乳児期** 愛着形成に成功して人生の土台をつくる。
- 2. 幼児期(前)** 感情を制御してコントロール力を身につける。
- 3. 幼児期(後)** 遊びに自発性を発揮し積極性の土台をつくる。
- 4. 児童期** 勤怠性を身につけ、集団での居場所をつくる。
- 5. 青年期(前)** 「これが自分」というものを見つける。
- 6. 青年期(後)** 恋愛によって信頼を獲得。
- 7. 壮年期** 新たな世代を育てる。
- 8. 高齢期** 自分の人生を統合。
- 9. 超高齢期** 死の過程を超越。

出典: <https://win3.work/lecture-141/>